協議事項

資料１

**芳珠記念病院における病棟再編について**

１．病床数の見直し

　　地域包括ケアシステムの構築に向け、急性期機能を集中させながら、退院直後の在宅復

帰支援を手厚くすることで、早期の在宅生活を実現する体制を構築する。そのために休床

している６０床のスペースを活用し、外来・在宅医療提供体制の強化などを行う。

　病床機能転換補助金（休床60床）および病床削減支援給付金（急性期15床、慢性期

2床）を活用予定。

　（参考）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 病床数 | 診療報酬 |
| 高度急性期 | １５ | 急性期一般 |
| 急性期 | １１１ | 急性期一般 |
| 回復期 | ４２ | 地域包括ケア |
| 慢性期 | ３２ | 障害者病棟 |
| 休床 | ６０ |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 病床数 | 診療報酬 |
| 高度急性期 | １５ | 急性期一般 |
| 急性期 | ９６ | 急性期一般 |
| 回復期 | ４２ | 回復期リハ病棟(うち一部は地域包括ケア入院医療管理料) |
| 慢性期 | ３０ | 障害者病棟 |
| 休床 | ０ |  |

２．再編後の主な内容

　・退院直後の在宅復帰支援を拡充するため、点在している在宅関連事業を集約し、在宅復

帰支援センターを新設する。在宅復帰支援に資するシステムの導入や訪問用車両の購入

などを行う。

・外来機能強化と非接触型対応を促進するため、ＡＩ問診センターなどの整備を行う

・回復期リハ病棟の開設により、当院の脳神経疾患や整形外科疾患に対するリハビリテー

ションを強化する。また市外急性期病院からの早期転院を促進する

・感染症への対応を想定し、病室はできる限りの個別化・非接触を進める

・地域包括ケアシステムの構築を予防事業からも実現するため健診センターの拡充を行う

３．今後のスケジュール

　　令和３年４月～９月頃（改修工事）

１